

バグ等に関するガイドライン(要検討、草案)

- ・バグや仕様により統合版、Java版(以降、両版)間に明らかな有利、不利の差が生じる場合には、原則として福舞ラボがプラグイン作成等をなるべく早急に行い、差を解消、又は軽減する。
- ・バグや仕様に関してこちら側が根本的な対処を行うことは不可能に等しいため、適切に公式フィードバックなどを用いて開発側に意見を述べる。
- ・テクスチャバグに関してはテクスチャパックやリソースパックなどを用いて、あるいは開発して、解決まで導く。
- ・福舞ラボオリジナルプラグイン、MODに関するバグに関してはGithubでの当該リポジトリにissueの書き込みを行わせる。アカウントが作成できない等のやむを得ない事情がある場合はラボ、または運営がissueを書き込んでおく。プラグインまたはMODの制作者はissue書き込みより一ヶ月以内に対応を行う。ラボの他者が対応できる場合は委任することも可能とする。また、対応の遅れを防ぐため、不具合、要望チャンネルまたはチケットでの報告を行わせる。
- ・海外からの通信でのラグ等こちら側の対応が不可能なときは対応不可能とし、解決済みとする。
- ・両版の差については開発側が対応を続けているため、開発途中のことに関して余計なフィードバックの送信は行わないこととする。
- ・当面の間改善が見込まれないものは仮解決とし、被害を被る、被った者に対してはその旨を伝える。
- ・バグ等に関する報告は原則不具合、要望チャンネルで行い、どうしてもプライバシーを保つ必要がある場合はチケットで行わせる。
- ・改善が必要なことは常にリストアップし、解決済みとしたものも今後の対応のため最低一ヶ月は保存する。
- ・このガイドラインは一年に一度またはそれ以上の頻度で改定の検討を行うものとする。